

指定管理者評価シート

事業名	札幌市都市公園維持管理業務	所管課(電話番号)	東区土木部維持管理課(781-3521)
-----	---------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①丘珠空港緑地 ②美香保公園 ③伏古公園	所在地	①東区丘珠町230-1ほか ②東区北20条東4～5丁目 ③東区伏古1条2丁目
開設時期	①H19年3月30日②S32年3月23日 ③S54年3月12日	延床面積	①487,941m2 ②34,000m2 ③66,023m2
目的	公園、緑地の魅力、特性を生かし、利用価値を高めること。		
事業概要	丘珠空港緑地、美香保公園、伏古公園の維持管理及び運営		
主要施設	①パークゴルフ場 ②テニスコート ③テニスコート、野球場		
2 指定管理者			
名称	北のふるさとNグループ(マルミプラス(株)、(株)集楽園)		
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:3 複数施設を一括指定の場合、その理由: 当該3公園は、東区に所在し有料施設を含む類似施設があり、保守管理及び修繕業務など共通化することでスケールメリットを活かした経費節減が可能となり、一括管理による効率性が著しいことから一括指定とした。		
業務の範囲	公園、緑地維持管理業務、有料公園施設の管理運営(パークゴルフ場、テニスコート、野球場)		
3 評価単位	施設数: 1緑地2公園 複数施設を一括評価の場合、その理由: 同一の指定管理者で維持管理しているため。		

Ⅱ 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼ 丘珠空港緑地等の管理運営に当たり以下の7つの基本方針を継続して策定しました。 ① 市民の皆さんに東区の豊かな自然に触れる機会を提供します。 ② 市民の皆さんの健康づくりや交流促進につながる管理運営を行います。 ③ お客様視点に立ったサービスの向上に取り組みます。 ④ 環境に配慮し無駄を排除した管理運営を行います。 ⑤ 安全・安心の確保を最優先した管理運営を行います。 ⑥ 市民との協働による管理運営を行います。 ⑦ 公の施設としての使命を果たす管理運営を行います。	・基本方針に則り、運営協議会、公園利用者や町内会等の意見・要望を踏まえ、東区の特性を生かした公園を目指しました。特に今年度は東日本大震災から15年を迎えることから地震災害に備える等のパンフレットを公園の清掃ボランティア団体に配布しAEDにも実際に触れてもらいました。地域住民の安全・安心に寄与することができました。	A B C D ・方針通り実施され適切と思われる。
	▼ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼ 以下の①②を満たすことが大切であると考え継続して取り組みました。 ① 受付業務や利用許可等にあって不当な差別的取扱を行わず、あらゆる人々に公平・平等な業務を行うこと。 ② 特定の人々、特に、障がい者、高齢者、外国人等にとって施設を利用しづらい環境であれば、できる限り改善し、形式的ではなく、実質的な平等利用ができるように接遇、対応の品質を確保することを常に意識し業務を行いました。	・利用者の意見、要望を傾聴しつつ、定期的に接遇研修会を実施しています。常にあらゆる場面においても特定の利用者を差別することなく公平・平等を意識し思いやりをもった対応ができました。	・適切と思われる。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼ ISO14001水準での環境対策を行いました。 伏古公園で発生する刈草、落葉をたい肥化し緑のリサイクルの一環として活用し落ち葉集積ピットを拡張してリサイクルの輪を広げています。 堆肥は、市民農園を利用している方々から希望があれば無料配布しました。 管理する3公園で発生した伐採木、剪定枝は丘珠空港緑地に堆積し、石狩地域で進められている木質バイオマス発電の燃料に使用しており地産地消型の再生可能エネルギーの供給に協力しています。 ▼ 環境マネジメントシステムを運用し、丘珠空港緑地での公園灯の深夜の減灯をH27年度より継続し、電気使用量削減の取り組みを行っています。 ▼ 2015.6.29、代表企業であるマルミプラスはさっぽろエコメンバーレベル3の登録事業者になりました。また2016.4.28、生物多様性さっぽろ応援宣言企業となりました。各公園内の芝補充をする際には資源利用量の低減を図り生物多様性に配慮した材料を促進しました。 また、充電式草刈機、チェーンソー、ブロアーを新たに購入しCO2の削減に努めました。 ▼ 代表企業であるマルミプラスはさっぽろまちづくりスマイル認定企業です。(2020.3.20認定)現在も地域に密着した環境活動やまちづくり活動に励んでいます。特に大通公園の夏花壇は市民の憩いの場となっています。また、今年度は札幌駅前南口広場で「おもてなし緑化の取組事業」としてフラワーコンテナを寄附し観光者にも喜ばれました。	・ISO14001に基づき活動し十分に環境への配慮ができました。 ごみの減量に対しても草刈・落葉の堆肥化、公園内の深夜減灯等により市民の環境への意識向上が図られました。 また、伐採木、剪定枝のバイオマス利用により処分費の軽減に繋がりました。 生物多様性応援企業として芝等資材調達に配慮した製品を取り入れました。 また、CO2の削減を目指し電動刈払機等の追加購入、エコドライブの推進を図りました。 また腐葉土の一部を市民農園を利用する希望者の方々に今年度も継続配布し市民に喜ばれています。	・適切と思われる。
▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ▼ 施設長(1)・副施設長(1)のもと、企画担当(1)、受付担当(7)、維持管理担当(5)を配置するほか、必要に応じて、清掃・警備等のスタッフを継続して市内会社に再委託し適正に配置できました。 ▼ 緊急時の連絡系統及びその他の対応についても連絡網を基に、スタッフの実践研修(OJT)を行い事故、火災発生及び、不審者対応、遺失物、迷子、認知症徘徊者などの対応について周知運営にあたりました。	・職員・作業員等スタッフに対して、研修を行いレベルの向上を図り計画通りに実施できました。清掃・警備業務等の再委託についても適正に執行することができました。	・適切と思われる。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ▼ 事業計画に則り人材育成・研修計画に基づき、指定管理者研修会を開催しました。主催者から個人情報と接遇等の説明後、札幌市保健福祉局の講師を招き「要配慮者の避難支援」を受講、東区土木部講師からは都市公園の在り方等についてお話をいただきました。その後、実施研修としてAED操作等普通救命講習を20名が受講し緊急時に備えスタッフの資質の向上を図りました。 ▼ 作業開始前にミーティングを行い公園利用団体等の情報共有を図り、利用者優先の安全作業と作業員の安全性を図りました。利用者が求めるサービスの実現に努め、伏古公園では、昨年度に引き続き防犯の観点から樹木が密集した場所で間引き作業を行いました。また、園内の大径木調査を実施し将来的な安全対策と景観維持に努めました。	札幌市から講師2名をお招きし日常業務に係る知識を習得することができ職員の意識向上に繋がりました。AEDの実技研修においても操作手順の確認ができました。 作業開始前のミーティングで情報を共有化し利用者の優先を念頭におき、職員の安全作業に心掛け管理の向上に努めました。	・適切と思われる。																								
▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 以下の業務に関して委託先を決定し適正に履行されているか確認指導を行い、安全管理についての協力を求めました。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>トイレ点検・清掃業務</td><td>2015.4.1 ～</td><td>2026.3.31</td></tr> <tr> <td>公園灯等点検業務</td><td>2017.4.1 ～</td><td>2026.3.31</td></tr> <tr> <td>遊具等点検業務</td><td>2025.4.1 ～</td><td>2025.8.31</td></tr> <tr> <td>機械警備(管理事務所)</td><td>2015.4.2 ～</td><td>2025.11.10</td></tr> <tr> <td>駐車場門扉開閉他</td><td>2018.4.1 ～</td><td>2025.11.30</td></tr> <tr> <td>丘珠空港緑地内の一部草刈業務</td><td>2024.4.1 ～</td><td>2025.10.30</td></tr> <tr> <td>空き缶回収業務</td><td>2024.4.1 ～</td><td>2025.10.30</td></tr> <tr> <td>有料施設料金収納代行事務</td><td>2015.4.1 ～</td><td>2026.3.31</td></tr> </tbody> </table>	トイレ点検・清掃業務	2015.4.1 ～	2026.3.31	公園灯等点検業務	2017.4.1 ～	2026.3.31	遊具等点検業務	2025.4.1 ～	2025.8.31	機械警備(管理事務所)	2015.4.2 ～	2025.11.10	駐車場門扉開閉他	2018.4.1 ～	2025.11.30	丘珠空港緑地内の一部草刈業務	2024.4.1 ～	2025.10.30	空き缶回収業務	2024.4.1 ～	2025.10.30	有料施設料金収納代行事務	2015.4.1 ～	2026.3.31	・丘珠空港緑地内の一部草刈やトイレ清掃業務等を第三者委託し業務の費用縮減と効率的な維持管理を目指しました。業務の管理については、両者が連絡を密にして業務の適正確保から履行確認まで実施できました。今後も作業要領に則り確実に進めていきます。	・適切と思われる。
トイレ点検・清掃業務	2015.4.1 ～	2026.3.31																								
公園灯等点検業務	2017.4.1 ～	2026.3.31																								
遊具等点検業務	2025.4.1 ～	2025.8.31																								
機械警備(管理事務所)	2015.4.2 ～	2025.11.10																								
駐車場門扉開閉他	2018.4.1 ～	2025.11.30																								
丘珠空港緑地内の一部草刈業務	2024.4.1 ～	2025.10.30																								
空き缶回収業務	2024.4.1 ～	2025.10.30																								
有料施設料金収納代行事務	2015.4.1 ～	2026.3.31																								
▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) 丘珠パークゴルフ場 連絡協議会 オープン前に開催し利用者が親しみやすい施設にするため、同好会の会長等に整備内容の確認や大会の実施方法についての検証と後期高齢化が進み利用者減少の現状についても話し合いました。 <協議会メンバー> 東区年輪の会 会長 伏古パークゴルフ同好会 会長 丘珠連合町内会 会長 指定管理者 施設長以下3名	・利用者が親しみやすい施設にするため、パークゴルフ同好会の会長等に聞き取りを行い、整備内容の確認や大会の実施方法についての検証と現状について話し合いコース整備等に反映しました。また利用者数の増加方法についても検討しました。	・利用団体との調整が図られ、情報共有も行われている。																								

丘珠空港緑地等 維持管理業務運営協議会

開催月日	協議・報告内容
3月17日 (東区土木センター)	・管理運営方針 ・管理業務の実施状況 ・施設管理運営報告、情報の共有 ・利用者からの意見等報告 ・自主事業報告

・管理運営に関する業務報告及び今後の改善点や課題等について情報共有をしました。意見等は今後の反映していきます。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼ 現金等取扱規定に基づいた運用を公園別、自主事業等に分かりやすく区分した帳票を作成しており、不祥事や事故を未然防止に努めました。

また、万一、事故や不祥事が発生した場合には、すぐに札幌市に報告するとともに、本社内に対策委員会を設け、原因究明や再発防止策を検討・実行することとしています。

・現金等取扱規定等に基づき執行し不正経理等の事故はありませんでした。今後とも適正な執行に努めていきます。

・適切と思われる。

- ① 現金取扱体制の整備
- ② 複数体制での現金チェック
- ③ 利用料金を安全・確実に保管
- ④ 適正経理・帳票類の整備
- ⑤ 経費支出等に関する決裁規定の整備
- ⑥ 監査担当を設置し、定期的に監査の実施

▽ 要望・苦情対応

▼ 個々に受けた苦情、要望は公園ごとに記録し、ミーティング時にスタッフ全員が共有できる体制をとり運営の改善に役立てています。また急を要するものについては連絡網を活用し至急対応しました。苦情、要望を分析し当グループでの解決が難しい案件については、東区土木部と協議を行った上で解決することとしています。

・苦情・要望については、その都度情報共有し出来ることはスピード感をもって丁寧に対応ができました。特に丘珠緑地の自転車走行や各公園での犬の放し飼い等マナーを守らない市民への注意喚起に努めたところ苦情件数は減っています。

・苦情に対して適切に対応している。

内訳

丘珠空港緑地: 苦情9件、要望2件、感謝1件

美香保公園: 苦情7件、感謝2件

野球場利用者が公園駐車場を使用するため苦情が多かったが協調性をもって話し合っていたい

伏古公園: 苦情7件、感謝3件

	▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） ①当公園・緑地の業務仕様書に定めのある記録書類は、集計・整理後札幌市に速やかに提出し、また定めのとおり保管しました。 ②利用者の意見・要望を取得し、その結果から利用の傾向や利用者のニーズを捉え、それらを当公園の管理運営に反映させました。 ③報告事項に関しては、スタッフに周知するとともに、コンソーシアムの共有情報として認識し、組織としての改善に繋げました。 ④モニタリングの結果を分析し、計画や目標に対して乖離がある場合や、計画自体の構築に対して是正を要する場合には改善を行い、継続的な管理の質の向上に努めました。	・記録・モニタリング・報告・評価を適切に実施していますが、市への報告書類については社内検査体制の強化に努めました。 毎週木曜日に定例会議を開催しスタッフ及び会社役員と情報共有することによって管理運営の向上を図ることができました。	・適切と思われる。
--	--	--	------------------

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	・関係法令の遵守	A B C D
	▼ 関係法令（労働基準法・労働安全衛生法・労働契約法・雇用保険法・育児休業法・介護保険法・最低賃金法・厚生年金法・健康保険法・中小企業退職金共済法等）の遵守はもとより就業規則、給与規定等についても法令に基づき整備しています。 ▼ 第三者委託により実施している業務（遊具点検、駐車場門扉開閉、トイレ清掃、丘珠空港緑地一部草刈等）について、受託者に当該業務従事者の賃金調査等（北海道最低賃金を上回る時間単価）の労働環境に関する情報提供を求め確認しました。 ▼ 雇用環境の維持向上に関する取り組みとして ・正規職員の給与の増額 ・代表企業であるマルミプラスはワーク・ライフバランス取組企業認定（ステップ3）H27.12.2認定されています。 若い職員が多く通常の育児休暇とは別に、本人や配偶者が出産した場合に取得可能な特別休暇を整備し取り組んでいます。 ・社員の休暇取得率向上のため交代で休暇を取得できる様に情報の共有を図り、特に指定管理業務と除雪業務の間の期間（12月及び3月）に交代で5日程度の休暇の取得を促しています。 ・育児・介護休業法に定められた両立支援制度に取り組んでいます。 ・働き方改革による年5日間の有給義務化の実施。 ・資格取得についても奨励しており、当社職員の1級有資格者が若手職員4名を対象に次年度の「2級造園施行管理技士検定試験」に向け社内勉強会を実施した結果、全員が合格しました。 今後も資格取得に向け勉強会を重ね業務に繋がるように努めます。 ・就業規則をスタッフの手に取れるところに保管し、互いに誤解のないように努めています。 ・労務管理会社の助言を基に、ハラスメント対策委員会を役員4名で構成していますが該当事案は今年度もありませんでした。 ▼ 事故防止対策の取り組み 毎日KY活動（危険予知活動）として作業開始前に作業内容を確認し危険なポイント・対策・機械の点検・行動目標等をしっかり認識し作業員の安全性を図りました。 その結果、事故は発生していません。	には力を入れており良好な労使関係を築いています。 社員のモチベーション・能力の向上、継続的な優秀な人材の確保については一層の努力が必要と考えています。新人社員を含め働き方改革や若い世代へのアピールを含め努力しています。 本年度は、若手職員の施工管理技士検定試験に向け社内勉強会を実施した結果、全員合格できました。意識の向上と業務のレベルアップを目指すことができました。 KY活動の中でヒヤリハット事例を共有することで災害の芽を摘むことができ、無事故で終えることができました。	・社内の若手育成体制の充実を図っており、成果も出ているようで適切と思われる。引き続き雇用状況の向上や事故防止対策に取り組み、無事故を継続していただきたい。

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)	・利用者の安全については万全を期し、従業員に対してもミーティング等で、日々注意喚起(熱中症等)を行ってきたことにより、事故なく終了できました。 特にPGは高齢者が多く、熱中症等の症状で管理棟で横になる利用者がいます。家族の迎えや救急車が着くまで間、応急処置の知識をもつ受付職員の親切な対応がよかったと利用者から感謝されました。今後も利用者の安全に努め、維持管理を行います。樹木剪定についても市と協議しながら進めていきます。	A B C D
	▼ 利用者の安全については、セーフティーコーンや幟による作業範囲の明示また作業看板の設置により周知を図り、草刈等の危険な作業箇所については、飛散防止対策をして利用者の安全を図りました。 ▼ スタッフ全員が年度当初に普通救命講習を受講しており事故等に備えスタッフ20名全員が緊急連絡カードを携帯しています。また定期的に管理者から指導説明して実践的なものとなりました。 ▼ 災害発生時に備えて、年度当初に開催する指定管理者研修会で「要配慮者の避難支援」を札幌市出前講座講師から学びました。 ▼ 損害賠償保険は、計画通り加入しレクリエーション保険等にも随時加入しました。 ▼ パークゴルフ場では年配者が多い為、熱中症の防止を図る為、日よけ休憩所の設置、ドライミストの設置、猛暑時には受付にて水分補給の声かけ、塩飴の配布を継続して行い利用者に喜ばれました。 ▼ 丘珠空港緑地内の自転車の乗入に関して、9年前から近隣高校への協力依頼を継続するとともに通学時間帯には職員の指導(10回)効果もあり乗入台数は皆無ではありませんが苦情も減り利用者の安全が図られました。 ▼ カラスの威嚇は昨年より減少しましたが発見した時は、注意喚起看板や公園利用者にマニュアルを配布継続し危害が起きないように安心安全に心がけました。 ▼ 丘珠空港緑地内の樹木を計測柱の高さ内にするため昨年度3月に続き4月に剪定しました。今後は、PG場も含め剪定のエリアを定め計画的に進めることとします。		・公園利用者及び作業員の安全について、十分に留意して対応しており適切と思われる。また、空港緑地の剪定は、引き続き計画的に実施いただきたい。
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼ 通常業務について、計画書以上の園内清掃、草刈、トイレ清掃等を継続し行いました。 ▼ 施設の維持管理について、随時点検、修繕を行い公園施設の品質向上に努めました。 ▼ 冬囲いや剪定等の樹木の適正管理はもとより、秋口の台風シーズンの倒木に備え枯損木の撤去や高所作業車両による越境枝、園路灯・視界を遮蔽しつつある枝の剪定を行いました。 ▼ 公園・緑地の清潔さと美観の維持は利用者や近隣住民・各種団体の協力を得ながら維持していくことを目標に、多くの方に理解をしていただき、管理コストの縮減と公園・緑地に対する愛着心の醸成を図りました。 ▼ 環境負荷軽減とコスト削減を目指し伏古公園野球場で草刈ロボットを稼働しました。今後、PG場等他の施設への活用と台数増を検討していきます。	・施設・設備等の維持管理については計画書以上の作業を実施しながらも、管理コストの縮減と多くの方々の協力を得て実施することができました。今年度は草刈りロボットを稼働し、作業時間を従来の約30%削減でき人手不足の解消や作業者の負担軽減にもつながりました。省力化と効率化の面で一定の成果が得られましたので、今後は導入台数やエリアの拡大、安全面のさらなる検討していきます。	・コストの縮減や人手不足解消に取り組んでおり、適切と思われる。

	▽ 防災 危機管理対策・対応を、「予防・未然防止対策」、「初動処置・対応」、「再発防止・対応改善対策」の3段階に分け、各段階で個別具体的な対策を行いました。 今年度は地震発生時(震度4以上)の対応としてブランコ、滑り台、大型遊具等からの避難や木の下、照明柱の近くから安全な場所への誘導等について実施しました。「マニュアル」を共有し、訓練を年2回(6月・9月)実施(延10名参加)し個々の具体的な行動を確認しました。 ▼ 豪雨・湧水が想定される場合は、事前にU字溝や柵の清掃を行い、丘珠空港緑地では冠水対策として事前に可搬式水中ポンプを2台配備しました。豪雨には至りませんでしたが迅速な準備対応ができました。	・防災は予防・未然防止、初期対応、再発防止の3段階で実施し、安全確保に努めました。 今年度は地震発生時の利用者の誘導等の対応について個々の動きを確認しました。初動訓練を年2回実施(延10名参加)し対応力の向上に繋げました。改善点は記録し今後に繋げることにしました。総じて前年度より防災体制は向上しました。	・適切と思われる。引き続き防災体制の強化に努めていただきたい。								
(4)事業の計画・実施業務	▽ AED普及啓発事業 ▼ 伏古公園、丘珠空港緑地にAEDを設置、園内に設置案内表示を多く継続掲示しています。 札幌市内のAED設置施設として登録されており一般市民が利用可能となっております。今年度も札幌市の設置場所として更新をしています。今年度6月には、清掃ボランティア活動されている団体に「操作マニュアル」を配布し実際にAED2台に触れてもらう体験会を実施しました。22名に参加していただき「さっぽろ救急サポーター」として活動しました。 また、スタッフの救命スキル維持と向上を図るため、4月の指定管理者研修会において、日本救命措置振興協会による実技指導とAED取り扱いについて20名が受講しました。 これらの取り組みにより、スタッフのAED操作に対する自信向上や、来園者からの安全に対する信頼感の向上といった成果が見られました。今後、非常時対応に対する情報共有体制の維持が必要であると認識し鋭意努力していきます。	・AEDを設置しオープン準備を進め案内サインも増設しました。 ・救急救命講習会に職員20名が受講し全員が証明書を持参しています。 ・今年度は、伏古公園清掃ボランティア団体に参加いただきAEDの理解を深めてもらいました。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">公園スタッフのみならず、公園清掃ボランティアも対象にAEDの普及啓発に取り組んでおり、適切に対応していると思われる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	公園スタッフのみならず、公園清掃ボランティアも対象にAEDの普及啓発に取り組んでおり、適切に対応していると思われる。			
A	B	C	D								
公園スタッフのみならず、公園清掃ボランティアも対象にAEDの普及啓発に取り組んでおり、適切に対応していると思われる。											

▽ 園芸に関する相談業務 ▼ 例年開催している春の園芸市では、昨年度同様に開催時間を1時間延長し、参加者人数も約200名を超えました。苗木や花苗の減価販売に加え、グリーンアドバイザーによる植栽助言や指導サービスを充実させ計30回程の相談対応を実施し好評を得ました。 今後は効率的な人員配置や人気のある花・野菜苗の購入を検討し質の高いサービスを目指します。	・園芸市は例年人気が高く、職員のノウハウや資料配布で負担はありますが利用者満足度と地域交流を向上させることができました。 今後も質の高いサービスを目指していきます。	・地域に親しまれている事業のため、効率的に進めつつも満足度が上がるよう、引き続き継続していただきたい。
▽ 公園利用に関する市民の自主活動及び交流の支援業務 ▼ 幼稚園、小学校などの遠足、運動会などの利用に関し、過去の利用状況を把握し3月末から4月にかけて当グループから情報発信し、各利用者の年間予定の作成に便宜を図りました。(継続実施) 伏古公園では毎年継続している地域町内会団体の他、清掃ボランティア市民団体(20名)が職員とともに美化活動に励みました。 美香保公園はラジオ体操会の方々には長年ゴミ拾いをさせていただいており職員とのコミュニケーションも良好な関係にあります。 ▼SDGs推進の取組、すべての人に健康と福祉をテーマに、障がい者の方たちへの就労実践の場として丘珠パークゴルフ場を継続し提供しました。就労支援施設で生産した農産物などを自ら販売し利用者との交流を図り学んでもらいました。 2年続く野菜販売なのでPG利用者にも定着してきています。	・地域の市民との交流やSDGs推進の取り組みとして障がい者たちへの就労実践場所の提供を行いました。 ・障がい者の就労支援を継続し、ラミネート加工製品や掲示物制作品を原価で販売しました。	多様な方々が公園運営に参加する取り組みであり、引き続き継続していただきたい。
▽ 地域の交通安全に関する情報収集及び提供業務 ▼ 昨年度の引き続き東警察署から提供される「交通安全情報」をPG場受付棟内に掲示しました。高齢利用者が多く交通事故の情報と注意点などを共有することで、来場時の安全意識向上に努めました。来場者からは「知らなかった危険箇所を知ることができた」といった声も寄せられ、一定の効果が見られました。 ・さらに、受付スタッフによる「帰路の安全運転」も加え、高齢利用者への声かけを強化しました。これにより、来場者の交通トラブル報告はなく、予防的な安全対策として継続していきます。 次年度はHPへの分かりやすい情報提供を検討します。	・東警察署から提供される「交通安全情報」を掲示するとともにスタッフからの声かけも安全意識向上に寄与しました。 ・次年度はHP上でも交通安全への周知を図ります。	地域の安全意識向上につながっており、今後もさらなる周知をしていただきたい。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R6実績	R7計画	R7実績
美香保 庭球場 硬式	件数(件)	1,772	1,825	1,918
	人数(人)			
	稼働率(%)	42.0		44.0
美香保 庭球場 軟式	件数(件)	915	942	926
	人数(人)			
	稼働率(%)	29.0		30.0
伏古 庭球場	件数(件)	1,962	2,020	2,184
	人数(人)			
	稼働率(%)	41.3		42.0
野球場	件数(件)	401	413	448
	人数(人)			
	稼働率(%)	24		26
パーク ゴルフ 場	件数(件)			
	人数(人)	23,255	23,952	20,337
	稼働率(%)			

▽ 利用促進の取組

今年度一新したHPで各施設の特徴や利用方法、四季折々の風景を写真付きで紹介し、札幌市の公式観光サイト「サッポロスマイル」や丘珠空港などの関連サイトへのリンクを掲載することで、施設の認知度向上と広域からの集客につなげました。

また、丘珠パークゴルフ場では、他の管理施設と共通で利用可能な回数券やサービス券の発行を継続し、リピーターの確保と複数施設の利用促進を図りました。これにより、施設間の回遊性が生まれ、利用者の利便性向上と稼働率の維持に寄与しています。

さらに、現地では初めての方にも安心してご利用いただけるよう、受付での丁寧な案内やルール説明のほか、初心者向けの「お試しプレー体験日」を開催しました。加えて、地域イベントや子ども向け教室との連動によって、幅広い年齢層の利用者拡大にも努めています。

今後も、継続的な利用者アンケートやアクセス解析を通じて、実際の利用傾向を把握しながら、柔軟な利用促進施策を検討していきます。

A

B

C

D

利用者の安全を考えパークゴルフ場や庭球場・野球場利用者には水分補給、休憩などの注意看板や声掛けをするとともに受付に塩飴を置く等の配慮に心がけました。

東区内の同好会や親睦会等の大会に向けても事前に注意喚起を継続的に行いました。

今後も大会等の自主事業を計画し集客活動に取り組んでいきます。

・利用者増加に向けた情報発信や丁寧な利用者対応を今後も強化して、継続していただきたい。

・猛暑時の水分補給呼びかけや塩飴配布、巡回強化で安全に運営しました。

・丘珠PGは共通回数券などでリピーターを一定数確保していますが、後期高齢化が進み利用者が減る傾向があります。今後は町内会団体へのPRを一層進めていきます。またHP上で初心者体験会や用具貸出強化で若年層・家族層の利用呼び掛けに取り組みます。

(6)付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	▼ ウェブアクセシビリティの取組 担当者のレベルアップを目指しズーム研修(概論・運用・デザイン)を受講し、指定管理者の立場や役割の理解を深めました。次年度以降も更に維持・向上に努めていきます。 ▼ 所管局からの「HPの適宜更新および有益な情報の発信をお願いしたい」という評価に対し、以下の具体的な対応を行いました。 今年度後半、「北のふるさと」ホームページについては、利用者が見やすく楽しめるデザインを意識して一新を図りました。 さらに、社会福祉関連ページとの相互リンクを強化し、外部からの流入を増やすことで露出を拡大しています。 これらの取り組みの結果、今年度のHPアクセス数は前年比12%増加し、特にイベント情報や施設利用案内のページへのアクセスが顕著に伸びています。利用者からも「情報が見やすく、タイムリーに更新されている」との声をいただいています。 今後も利用者視点に立ち、季節ごとのイベント情報や最新の注意事項を随時発信し、より魅力的で利便性の高いホームページ運営に努めていきます。 ▼ 東区地域振興課との連携の継続 「ひがしくウェルネス・プロジェクト2025」 より多くの市民が気軽に健康・スポーツに触れ、運動習慣づくりを行えるイベントとして、タッピーウェルネスラリーが開催され、丘珠空港緑地PG場と伏古公園が参加協力しました。 市民から初めて伏古公園に行った、またPGを初めて経験した等の声があり施設の周知に繋がっています。 ▼ 地域コミュニティーなどとの連携 美香保公園の連合町内会共催の「スノーキャンドル」は1月と3月に実施しました。子ども会、町内会、公園利用者に呼び掛けて作りました。 阪神・淡路大震災と東日本大震災の日を忘れないように東区と協議して「地震を知る」のパンフレットを参加者に配付しました。 HPの掲載記事を見たとの声も多く今年度は点灯後に見学される方々が多く見受けられました。 ▽ 引継ぎ業務 継続指定の為、引き継ぎ業務はありません	・地域の方々と定期的に意見交換を行い、信頼関係を築いています。地域イベントや運営情報も共有し、住民の声を反映しています。 ・今年度は「北のふるさと」HPを一新しました。事業・イベント情報や季節の風景を写真付きで発信し、利用者にわかりやすい情報提供を行います。 ・札幌市公式観光サイトや丘珠空港などとリンク掲載を進め、多くの市民・観光客へ情報発信を強化しました。 ・今後もSNS活用や利用者アンケートによる双方向広報も進めていきます。	・ホームページの情報発信と強化がアクセス数の増加につながっている。今後もこれに満足することなく、SNS等も活用してさらなる情報発信力強化に努めていきたい。

2 自主事業その他

▽ 自主事業

▼ 各公園共通

・自動販売機(飲料水・アイス)の設置
利便性向上・熱中症対策・市民サービス

▼ 美香保公園

・地域交流花壇づくり(6月)
・スノーキャンドル(1月)
「災害時の避難に備えよう」チラシ配付
阪神淡路大震災30年を偲ぶ
・スノーキャンドル(3月) 荒天のため中止
東日本大震災を忘れない

▼ 伏古公園

・スポーツ用具レンタル(有料施設営業期間)
・園芸市(5月)
・地域交流花壇づくり(6月)
・クロスミントン教室(8月)

▼ 丘珠空港緑地

——パークゴルフ場——
・共通回数券、共通ポイントカードの継続
・PGでのクラブ等レンタル(PG営業期間)
・就労支援施設 タオル、パン類販売
・園芸市(5月)
・就労支援事業 野菜販売(6月～10月)
・PG大会 北のふるさと杯
(春季、秋季)
・モルック体験会(9月) 丘珠連合町内会共催

①スノーキャンドルは被災者を追悼し市民の防災意識を高めることを趣旨として近隣住民に定着しています。今年度は1月は実施できましたが3月は荒天のため中止としました。
②2年目となる事業として、公園内で楽しめるニュースポーツも参加者の評判がよく今後も継続し市民の健康づくりと交流促進の場を提供していきます。
なお、クロスミントンとモルック用具は今年度も伏古公園にて無料貸出を行っています。好評のため追加購入しました。
③資材等の発注においては積極的に市内企業を活用するとともに市内の福祉法人の物品の販売協力を継続しました。
また、北海道SDGs推進ビジョン「すべての人に健康と福祉を」ターゲットに就労実践場所の提供を継続しました。

・適切に取り組んでおり、今後も利用促進や地域貢献につながる自主事業に積極的に取り組んでいきたい。

A B C D

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

第三者に委託している業務の中、管理事務所の夜間警備（SECOM）、料金収納代行業務（ウェルネット）以外は市内業者に委託しており、その他物品等も市内での調達を継続し活性化を図っています。

札幌市では、令和4年11月に策定された「丘珠空港の将来像」において、「空港と周辺地域との調和と共生」に取り組んでいく方針が示されています。この方針に基づき、空港周辺地域の住民をはじめとした市民との協議を重ねながら、環境への配慮や地域の賑わい創出に資する様々な取り組みが進められています。

なかでも、丘珠空港に隣接する丘珠空港緑地については、将来的に滑走路延伸等により一部面積の減少が想定されていることから、同緑地の機能を維持・向上させるための対応が求められています。今年度は、札幌市と丘珠空港等の企業と協働した集客イベントは実施しませんでした。次年度に向け検討していきたいと考えています。

このような背景のもと、当施設ではすでに地域との共生や福祉の一環として、様々な取り組みを進めています。たとえば、東区の社会福祉法人で製作・生産されたパンや大福、就労支援施設で制作されたタオルなどを、丘珠空港緑地パークゴルフ場で“タッピーショップ丘珠支店”として販売しており、15年目を迎える現在では地域に定着し、施設の売上にも貢献しています。

また、障がいのある方々のリクリエーションとしてパークゴルフ場を提供し、「スロープレイタイム」を設定するなど、安心して利用できる環境づくりにも配慮しています。さらに、札幌協働福祉会の協力により、園内の除草作業や、就労支援施設で生産された野菜の販売も継続して行い、地域との連携と就労支援の両立を図っています。

こうした取り組みは、「丘珠空港の将来像」に掲げられた調和と共生の理念を体現するものであり、地域福祉・環境保全・賑わいづくりに貢献しています。

当グループでは、市内企業からの調達を継続し地域経済に貢献するとともに、再生紙や省エネ機器など環境配慮型製品の導入も検討中です。福祉施策では、就労支援施設による販売・製作の継続に加え、案内板加工やデジタル作業への発注も視野に入れ、協働の幅を広げています。地域連携と社会的貢献を重視した取り組みを推進しています。

・地元企業や就労支援施設との連携に適切に取り組んでいる。今後も、周辺環境や緑地の置かれている状況の変化を積極的かつ柔軟にとらえ、公園利用促進策を地域とともに検討・実践していただきたい。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケート

実施方法	5月から10月まで伏古公園管理事務所及び丘珠空港緑地PG事務所にアンケート箱を置き実施しました。また来所される方々の主な意見・要望は下記のとおりです。		
結果概要		総合満足度	接遇満足度
	札幌市業務仕様書	75%以上	85%以上
	丘珠空港緑地	88	88
	美香保公園	84	88
	伏古公園	84	88
	全 体	85.3	88
利用者からの意見・要望	・美香保公園駐車場はすぐ満車になる ・丘珠緑地内の自転車走行は止めてほしい ・丘珠緑地や各公園で犬の放し飼いは止めてほしい ・公園内を禁煙にしてほしい ・各公園の受付職員や作業員の対応がよい		

・利用者の声には真摯に傾聴したいと考えており、積極的に管理運営に反映し対応を考えていきます。

接遇満足度は目標値85%のところ88%、総合満足度は目標値75%のところ85%いただきました。

次年度はHP上にQRコードを載せ利用者からの意見・要望を随時聞くようにします。

A	B	C	D

・引き続き利用者の声に耳を傾け、満足してもらえるような管理運営をしていきたい。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R7計画	R7決算	差(決算-計画)
収入	113,557	112,402	▲ 1,155
指定管理業務収入	112,205	110,501	▲ 1,704
指定管理費	100,805	100,872	67
利用料金	11,400	9,549	▲ 1,851
その他	0	80	80
自主事業収入	1,352	1,901	549
支出	113,437	112,402	▲ 1,035
指定管理業務支	112,205	111,255	▲ 950
自主事業支出	1,232	1,147	▲ 85
収入-支出	120	0	▲ 120
利益還元	120	0	▲ 120
法人税等	0	0	0
純利益	0	0	0

▽ 説明

【収入】

- 1 利用料金はPG場の利用者減に伴い大幅に減となりました。
- 2 自主事業収入は自販機売上及びレンタルで収入増となりました。

【支出】

伐採木、剪定枝を木質バイオマス発電燃料として再生エネルギーに供給したこと、施設設備等を計画的に修繕し支出を抑えました。

・利用料金収入は美香保公園・伏古公園はほぼ横ばいでしたがPG場は暑さや高齢化の影響もあり昨年度比より減となりました。施設が利用されていない時間帯を見計らい美香保・伏古公園の芝、PG場のスタート台、通路等の整備をしました。今後に向け利用者の満足に繋がるよう適切な対応に努めます。

A	B	C	D
	適切と思われる。		

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

構成企業のマルミプラス(株)及び(株)集楽園の財務状況は昨年度から大きな変化はなく、引き続き安定経営能力に問題ありません。

適	不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ・各条例に則り適切に対応
- ・情報公開請求は該当案件なし
- ・暴力団の排除の推進に関する条例に該当事例なし
- ・オンブズマンによる実地調査等なし

適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
今期の業務計画に基づき、Nグループ内における円滑なコミュニケーション及び東区土木部との情報共有により、安全かつ効率的な維持管理ができました。また利用者のご意見・ご要望を反映しサービス・満足度の向上に繋げることができました。 作業員の安全と健康管理については、毎朝のKY（危険予知）活動を通じて危険度や安全対策に対する認識を全体で共有しました。慣れた作業機械操作の再確認を行うとともに厳しい環境で従事する作業員へ適切な休憩等を指示しました。結果、今期も無事故で業務を終えることができました。 公園利用者に対する安全対策としては、今年度も挨拶運動を継続し良好な関係を構築し、作業への理解と協力を得ることができました。また、AEDの普及啓発を目指し園内の清掃ボランティア団体へ操作マニュアルを配布し実際に機器に触れてもらう等理解を深めてもらいました。 緊急時対応では、東日本大震災15年を機に地震発生時の対応として利用者の安全を図るため公園内の施設等からの避難方法や安全な場所への誘導について訓練を行い職員個々の行動を再確認しました。 環境負荷の軽減と経費削減を目指し、草刈ロボット稼働し効率的な作業の構築に努めました。	長年の成果を活かし、引き続き合理的かつ効率的な維持管理を進めます。スタッフや公園利用者への安全性の確保（巡視・点検）と危機管理（防犯・防災）を強化し質の高い緑地環境を維持します。 安全性の確保を重点事項として巡視や点検の強化のほか老朽木や危険木の剪定や伐採等を積極的に実施し安全性の確保に努めると共に危険管理を強化し質の高い緑地環境を目指します。 自主事業では、自販機・レンタル事業を除き、関係機関と連携して積極的に取り組みます。幅広い世代が楽しめる事業を企画し収支バランスに配慮した運営を目指します。 利用者ニーズを反映し、安全・安心な公園運営を継続するとともに、SDGsの視点から協働福祉会の作る野菜販売提供を通じ持続可能な管理を推進していきます。 老朽化対策として、遊具等の点検・修繕を継続し、安全確保に努めます。 広報ではHPを一新したことから利用者が見やすく楽しめるデザインとして関係団体と連携しつつ事業や四季折々の写真を紹介し、公園利用の促進を図ります。また、QRコードを載せて利用者の声の収集に努め利便性を図ります。 草刈りロボットの購入やエリアの拡大、安全面の更なる検討を進めていきます。また、CO2削減を目指し充電式作業機械の導入を図っていきます。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
本件の公園維持管理業務は、おおむね適切に遂行されていた。特に、近年対策が求められている熱中症に対して、公園利用者・作業員対策ともにより積極的に対応している点は評価される。また、AED普及啓発事業において公園清掃ボランティア団体に体験してもらった点や、市民対応において、利用者により積極的に声掛けを行うことで各種課題解決や未然予防に対応している点が評価される。	施設の老朽化が進み、計画的に修繕を行う必要があるため、予算措置等の調整のためにできるだけ早い時期に修繕計画（優先度、修繕方法の提案および見積）を作成してほしい。令和8年度も引き続き伏古公園での工事等が行われるため、ご協力いただきたい。